

犬山市桃品評会・即売会

イオン扶桑店にて今年も開催！



犬山市果樹園芸組合連合会は7月16日（土）、イオン扶桑店の特設会場で「第39回 犬山市桃品評会」と桃即売会を開きます。

この品評会は、桃の栽培技術や品質の向上と、連合会員の栽培意欲の向上を図るために毎年実施しているもので、犬山市内で栽培している農家が出荷箱1箱（11玉、上限3,300g）を出品します。

現在JA愛知北が出荷する桃のほとんどを愛知県内のイオンリテールに納品していることから、昨年度から消費者の皆さんにも公開しながら品評会を実施しています。

昨年は、25点の桃が出品され、糖度、味、外見、玉のそろい具合などが審査されました。昨年の平均糖度は14.8度で、最高糖度16.7度の桃もありました。一般的な桃の糖度が12～13度と言われており、会場では驚きの声が上がりました。

出品者は連合会員と犬山市内農地で桃を栽培する農業者で、出品種目は白鳳系です。

JA愛知北の桃の生産について

栽培面積：約20畝 出荷量：約22t（見込み）

取り扱い先：愛知県内のイオンリテール

JA愛知北産直センター

今年の出来

今年の桃は、開花が1週間ほど遅かったものの、着果が良く最高の出来です。味も例年通り期待できます。



前回の審査の様子

「犬山市の桃栽培の特長」

犬山市は昭和初期からの歴史ある桃の産地です。高齢化により生産者が減少する中、JA・県が中心となり「モモ栽培サポーター養成制度」で一般市民を対象に栽培指導を行っています。同制度の卒業生たちに桃栽培を支援してもらい、地域内で産地を支え合う取り組みとなっています。

日時：令和4年7月16日（土） 審査：10：00～ 審査結果発表・即売会：13：00～

場所：イオン扶桑店1F食品レジ前特設会場（愛知県丹羽郡扶桑町大字南山名字高塚5-1）

主催：犬山市果樹園芸組合連合会 来賓(予定)：犬山市長、扶桑町長、JA愛知北組合長



＊お問い合わせ先＊

JA愛知北 総合企画部企画課（長谷川・山本）

TEL：0587-50-0008 / E-mail：koho@aichikita.aichi-ja.or.jp